

九州ブロックGAP推進シンポジウムの概要

- 国際水準GAPの実施及び認証取得の推進は、東京オリンピック・パラリンピック大会への食材のみならず、輸出拡大や人材の育成など、我が国農業の競争力の強化を図る観点からも、極めて重要であることから、GAPのメリット等を理解してもらうことを目的に開催。
- 第1部は、農業団体2名の方からGAP認証取得までの農業団体と産地の生産者が一体となった取組や、パートナー企業から、持続可能な生産に向けたメーカーとしての取組について発表。
- 第2部は、パートナー企業9社と農業者等によるマッチング(うち7社WEB)を開催し、情報交流等を実施。
- 九州内外の農業者・流通業者など約90名が参加。



澤岡局長

第1部 事例発表

『生産者と一体になったGLOBALG.A.P.団体認証取得への取組について』

- ・取組の経緯、やったこと、感じたこと等を発表

JA宮崎県経済農業協同組合連合会
営農部営農振興課 課長 中村 博 様



『産地一体で取り組むJGAP団体認証』

- ・JAおおいたのJGAP団体認証取得の経緯等を発表

大分県農業協同組合
営農部営農企画課 係員 井上 累実 様
(WEB講演)



『持続可能な生産に向けて高野豆腐メーカーとしての取組』

- ・GAPと食品加工業の関係性等を発表

旭松食品株式会社
研究所 研究員 小原 弘幹 様
(WEB講演)



第2部 パートナー企業とのマッチング

マッチングに参加した GAPパートナー企業

(対面)
(株)西鉄ストア
鶴屋商事(株)FOODY ONE

(WEB)
旭松食品(株)(対面あり)
コープおおいた
(株)丸久
(株)アースコーポレーション
(株)米島
(株)マルミヤストア
(株)マルキョウ



Webマッチング

【GAPパートナー企業の意見】

- ・消費者の求める付加価値の多様化に対応できるようにそのためのツールとしてGAPが位置付けられるよう期待したい。
- ・マッチングはWEBより直接対面が意志が伝わる。

【農業者等の意見】

- ・参加者のうち約3割の方が今後、取組を検討したい意向。
- ・消費者の認知度が低いため、理解促進が必要。
- ・GAPの取組みと売上げの向上が繋がると嬉しい。

日時: 令和2年9月25日(金) 13:30~17:00

場所: 熊本合同庁舎A棟 1階共用会議室、10階農政第6及び第7会議室

主催: 農林水産省九州農政局生産部生産技術環境課

協力: (一財)九州オープンイノベーションセンター